

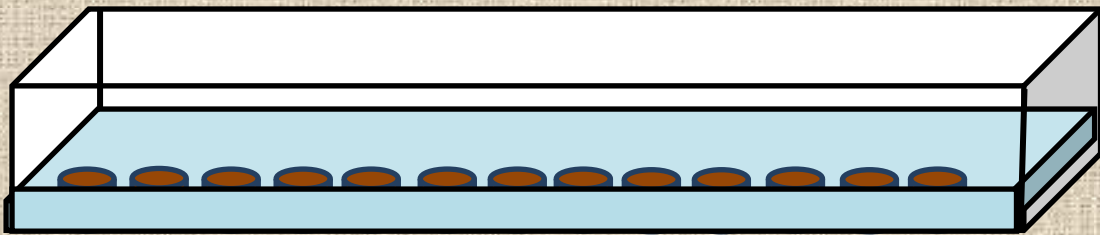
入園式(種まき)後の育て方

<お米の“いのち”を守り、入学まで遅しく育てるために:苗半作>

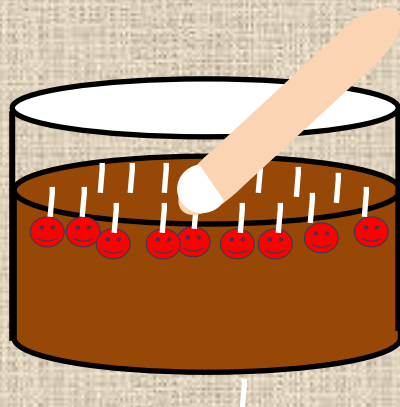
- 1、保育園に水をためて“いのち”と母乳にたっぷり吸収させよう
- 2、保育園は、温かくして“いのち”を守り、少しずつ自然環境に慣そう
- 3、保育園に太陽の光をあてて、健康で遅しい園児に育てよう
- 4、お父さん、お母さん、先生の気持ちになって、優しく又厳しくしつけをしよう

<どのようにするか?>

- 1、お米の“いのち”が土の中から、芽が出てくるまでは、保育園に水をためて、
フタをして保育園の中を温かくしましょう



- 2、“いのち”が芽生えたら、指で芽を押して第一回目のしつけをしましょう

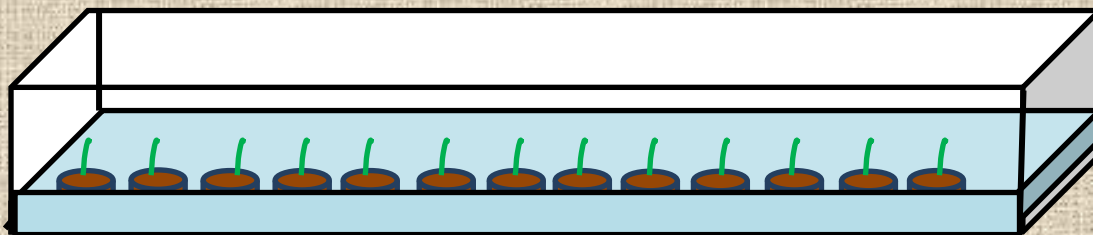


3、“いのち”が芽生えて、しつけをしたら保育園の窓(フタ)を開けて、太陽の光を

当て、新鮮な空気を幼児に吸収させよう

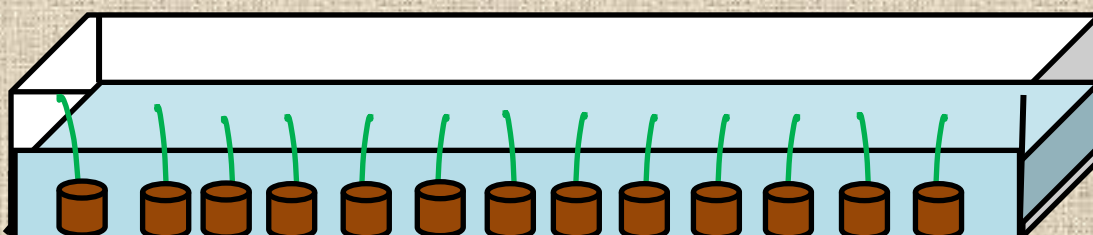


夜は、涼しくなるので、下校するときは窓(フタ)閉めて帰ろう



4、しつけは、一週間に一回しながら、身長が伸びてくるのに合わせて、水(水

位)を、増やして(水位上げて)いこう



5、しつけの3回目ごろ(葉が2枚出たころ)からは、逞しい新入生として学校に入

学できるように、窓(フタ)は夜も開けて、自然の環境に慣らしていこう、そして、

水は自分の力で吸収できるようにするために少しずつ少なく(水位を下げる)し

よう

